

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100937		
法人名	有限会社 美野里メディカルサービス		
事業所名	グループホーム つつじ	ユニット名	西館
所在地	〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼2-278		
自己評価作成日	平成27年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成28年4月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0873100937-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年12月3日	評価機関 決 済 日	平成28年4月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居様が暮らしの中で少しでも楽しめるよう、家庭菜園や草花等を通して入居者と職員が一緒に出来る事で、コミュニケーションをとりながら、落ち着いた生活が出来る様な環境作りに努めています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は雑木林や畑など自然に囲まれた環境に立地していながら、徒歩圏内にコンビニエンスストアがあるので、利用者は職員と一緒に散歩を兼ねた買い物に出かけている。
玄関には大きな置時計を配置して観葉植物や季節の花を飾り、広い廊下にはクリスマスの装飾をしているほか、事業所で亀や犬を飼育しており、家庭的な雰囲気となっている。
管理者と職員は、「笑顔で思いやりと優しさ」で介護支援することを理念に掲げ、利用者が居心地良く穏やかに過ごせるよう支援している。
事業所で開催する納涼祭には多くの地域住民が参加するため、利用者は地域住民との交流を楽しんでいる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	つつじの理念を理解し共有出来る様随時話し合いをしています	管理者と全職員で作成した地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関と各ユニットに掲示して毎朝のミーティング時や会議の際に確認し、共有しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃・缶拾い・草とりなどに参加し施設の行事等、地域の方々に手紙を出しています 保育園の夏祭りには招待があり、参加しています	自治会に加入し、職員と利用者で地域の清掃活動に参加したり、事業所の納涼祭や敬老会等の案内を自治会の回覧板で知らせて多数の参加を得ている。 地域の保育園の納涼祭に招待されたり、事業所のクリスマス会に園児を招待して交流している。 傾聴ボランティアが月2回来訪するほか、手話やオカリナ、踊りのボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の行事が行われる時や運営推進会議の時に参加者の方々に伝え、回りの方にも伝えていただけるようお願いしています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開かれる会議において、ホームの現状を伝え、皆様からの意見を聞き、サービスの質の向上となる様に努めています	運営推進会議は家族等の代表や町職員、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、地域住民代表、本部統括長、職員の参加を得て2ヶ月に1回開催している。 事業所からは利用者の様子や運営状況、行事報告等を行っている。 身体拘束についての理解を得るために議題に取り上げ、参加委員の意見を聞いたり、利用者が近くのコンビニエンスストアに徘徊した際の様子を店長に報告してもらうとともに、徘徊時の対応を話し合ってサービスの向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を行う事で、いろいろな面で協力関係が持てる様になってきたと思います	管理者は町担当者が運営推進会議に出席した際や、要介護更新申請等で町担当者を訪問した際に、運営状況を報告したり、町内の一人暮らしの高齢者やマイナンバーについての問い合わせなどを行っている。 地域包括支援センター職員には、生活保護受給者の件や介護保険制度の改正について相談をするなど、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内に、身体拘束のポスターを掲示しミーティング等で身体拘束について話し合いをしています 利用者様の安全確保（無断外出）のため玄関は施錠をしています	身体拘束廃止に向けたマニュアルを作成するとともに、年1回勉強会を実施して、職員は身体拘束となる具体的な行為について理解し、身体拘束をしないケアに努めている。 事業所は車の通行の多い道路に面しているため、安全に配慮して家族等の同意を得て玄関は施錠している。 やむを得ず身体拘束が必要になった場合の「同意書」等書類一式は備えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	一人ひとりに、余裕のある介護が出来る様 職員同士のコミュニケーションが良好に保て職員が一人ストレスを抱え込む事が無い様に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	成年後見人制度について掲示してあり権利擁護制度を利用している方も居ます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明し、納得を頂いた上で契約署名捺印をいただいています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱の設置をして苦情窓口の掲示や家族へのアンケートにて、意見や要望をお聞きしている	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、事業所の玄関に意見箱を設置している。 管理者と職員は、利用者からは日々の会話の中から、家族等からは来訪時や事業所の行事に参加した時、電話、アンケートなどにより意見や要望を聴いており、アンケートの集計結果は家族等に郵送で報告している。 「来訪した時の職員の言葉かけについて」や「介護計画作成会議に出席したい」などの意見等を受け、改善している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日 定期的に会議を行っている	管理者は毎朝のミーティングや月1回の職員定例会議で職員から意見や提案を聞く機会を設けているほか、業務中や休憩時間にもコミュニケーションを図り、何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員から「災害に備えて事業所の見取り図を作成しては」との提案を受け、実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	環境や人員について、何時でも代表者に伝える事は出来ている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等の案内を掲示しており、研修時のシフトの調整をしてくれています 積極的に研修に参加が出来る様に配慮されています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	毎月の定例会議の場での情報交換や行事等の際に、社会福祉協議会などに助言や協力をお願いしています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の家族の方より、情報を得て、多くのコミュニケーションを取り、不安の解消や要望の吸い上げに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用時に要望や不安に思うことなどを聞いています 随時に電話などで連絡を取り合い、良好な関係作りが出来る様努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居する前に事前訪問をしていただき、話を聴きながら、話し合いをして決めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の方が出来る範囲の掃除や洗濯等を一緒に行い、散歩や食事・お茶等を共にして色々な話をお聞きしています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方々と相談をしながら、外出などの依頼を行っています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの関係が途切れる事が無い様に電話をしたり、手紙が出せるよう援助しています	職員は利用者の親戚や友人などの来訪時には、ゆっくりできるよう希望の場所に案内してお茶を出し、継続的な訪問になるよう支援している。 家族等や利用者の友人の協力を得ながら、馴染みの店での買い物や外食に出かけられるよう努めている。 利用者が家族等や友人に電話をする際や、かかってきた電話を取り継いだり、外出の際に介護タクシーを手配するなど、利用者の馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他ユニットに行く事や、カラオケ・雑談したりする事で、利用者同志が気軽に過ごす事が出来、助け合う事が出来る様に努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院してから死亡退居となる為、関係の持続はありません 入院時は面会を行い、遠方のご家族様には 随時今の状況の報告はしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族の方の思いや情報をいただき、利用者本人の意向の把握に努め、利用者と話しながら検討しています	管理者と職員は、利用者との日常の関わりの中から一人ひとりの思いや希望の把握に努めている。 意志の表出が困難な利用者の場合は、家族等の来訪時に話しを聴いたり、表情や仕草から思いや意向の把握に努め、管理者と職員で相談しながら利用者本位の支援に努めている。 入居時の個人情報に、利用者の生活歴や趣味等の記録がなく、新たに把握した情報は申し送りノートに記載しているが、全職員で共有するまでには至っていない。	適切な支援が出来るよう、入居時に利用者や家族等から生活歴や趣味を聴き取り、記録に残すとともに、新たに把握した情報も全職員が共有できるような記録を工夫する事を期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に利用者本人や家族から情報を頂くと共に、以前の状況のサマリーを頂いたりして把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ同士のコミュニケーションから、今の心身の状態の把握に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議にて意見交換しています	介護計画は利用者や家族等の意向や利用者の生活面での課題を把握するとともに、職員や看護師の意見を取り入れて計画作成担当者を中心に話し合っって作成し、家族等の来訪時に説明して同意を得るとともに、来訪できない家族等には郵送している。 3ヶ月毎にモニタリングを実施し、短期目標を3ヶ月として12ヶ月毎に見直しをしている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等に確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りや、ケース記録・日誌の記録をし、情報を共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	其の時々状況に応じて、一人ひとり支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアをお願いして交流会を設けたり近隣の保育園の夏祭りには招待を受けています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はありますが、家族と相談しながら受診は決めています	利用者や家族等が希望する担当医をかかりつけ医としている。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療があるほか、協力医療機関への受診には職員が付き添い、他の医療機関への受診には基本的に家族等が同行している。 受診結果に変化があった場合には、家族等に電話や来訪時に報告するとともに、「申し送りノート」に記載している。	利用者の受診結果は、利用者の健康状態の変化が一目でわかるような個人毎のファイルに記録し全職員が共有できるような記録にすることを期待する。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診する際や、何かあった時には、何時でも電話などで相談する事が出来ます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族や本人の希望を聴きながら、医師や看護師と早期退院が出来る様に話し合っています	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で家族や本人の意向を確認し、其の都度対応、方針の共有を図っています	事業所は「重度化・看取りに関する説明及び同意書」や「終末期ケアマニュアル」を作成し、事業所で出来る事と出来ない事を利用者や家族等に説明するとともに、書面にて同意を得ている。 事業所は看取り介護は行わない方針であり、利用者の状況変化に応じて家族等と話し合うとともに、協力医療機関である法人系列の病院と連携を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルを作成し掲示し急変時には、適切に対応出来る様話し合っています	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時には利用者が安全に避難できるように消防署の協力を得て、定期的に避難訓練をしています	管理者は訓練前に消防署を訪れて避難経路などを相談し、消防署と消防設備点検業者の立ち合いのもと、夜間想定を含む総合避難訓練を年2回実施し、近隣住民の参加も得ている。 訓練後に職員会議で反省点や次回に向けた課題などを話し合い、記録に残している。 災害に備えて飲料水や米、缶詰等3日分の食料を一覧表を作成して管理しているほか、衛生用品は常に在庫を多めに備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に合わせて対応しています	職員はトイレ誘導の際はさりげなく声をかけるほか、失敗した時は利用者の自尊心を傷つけないようにトイレや自室に誘導し、利用者一人ひとりの人格を尊重した声かけを行っている。 個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかる書棚に保管し、情報の漏洩に留意している。 行事等の際に写した写真は、広報紙や事業所に掲示したりはせず、個人毎にまとめて家族等の来訪時に見てもらっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃からの言葉掛けや、本人の希望を聴き自己決定が行える様努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、利用者一人一人が、自身のリズムで日々過ごす事が出来る様配慮しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で好きな洋服を着ていただいております訪問での散髪も好みを聞いています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者と一緒に食卓を囲み食事をしていて、出来る範囲で準備や片づけをお願いしています	献立は法人の栄養士が作成し、季節の行事に合わせた献立や自家菜園で採れた野菜を食材に加えるほか、利用者の希望の献立を材料から準備する「お好み献立」を年2回実施している。 嫌いな食べ物は代替え食で対応したり、利用者の咀嚼能力に応じて刻み食にするなど、利用者一人ひとりに配慮した食事を提供している。 利用者はテーブル拭きや下膳など、出来る範囲で役割を担い、職員と一緒に会話をしながら食事が楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の立てた献立のより栄養のバランスは取れていますが、食べ残しが無いか、刻み食やトロミ食など、状況に応じた食事の提供をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行なっています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を支援しています 定時声掛け排泄誘導を行い、体調や本人の希望に応じてオムツ対応としています	職員は排泄チェック表や時間によるトイレ誘導ではなく、利用者の仕草やサインから察知して声かけ誘導し、見守ることでトイレでの自立した排泄ができるよう支援している。 入居時にリハビリパンツだった利用者が布パンツに、紙おむつだった利用者がリハビリパンツになるなど、改善している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便が出来る様に、便秘の原因を考え水分の摂取の勧めや、散歩とうの運動を勧めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日や時間の決まりはありませんが、一人ひとりがゆっくり入浴をし、喜んでもらえるよう支援しています	入浴は週2回午前中を基本とし、3ユニットそれぞれ曜日が違うので、利用者の希望により他ユニットでも入浴ができるよう支援し、利用者の体調や希望にそってシャワーや足浴にするなど、個々に応じた支援をしている。 入浴を拒む利用者には、声かけをする人や場所、時間を変えながら無理のないように促している。 季節に応じて菖蒲湯や柚子湯などを取り入れ、入浴が楽しみとなるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースや其の日の体調により、休む事が出来る様援助している 日中の過ごし方を考え、夜間は良く入眠出来る様に配慮しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用についての理解をし、誤薬に注意する為、本人確認を行い服薬支援と医師指示通りに服用出来る様に援助しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の出来る範囲の中で、役割を持ち行っていただいています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の車で買い物や花見等の行事を行っています 常には散歩にも出かけは居ますが、家族に依しての外出支援をしています	天気の良い日は、利用者の希望や体調を考慮しながら職員と利用者で敷地内を散歩したり、畑仕事をして気分転換を図っている。 職員は春と秋の行事計画を年2回立て、法人系列の送迎車を利用して、季節の花見や観光名所に出かけている。 職員は利用者の希望を家族等に伝え、利用者の行きたい場所や外食に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は所持しています自己管理できない方は、事務所にて管理をするか、家族の対応となっています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話の設置があり、自由に使用できます 依頼があれば電話連絡や手紙等の代筆や代行も行います		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節折々の花を飾っています テレビの音や陽射しが強い時はカーテンを引く事、室温にも注意調整しています	玄関フローアーには観葉植物や大きな置時計があり、水槽では亀を飼育していて家庭的な雰囲気となっている。 共用空間は清潔に保たれ、採光が十分に取入れられる造りとなっている。 居間兼食堂は温度や湿度が調節されており、一角に和室を設けたり、廊下にソファを配置し、利用者が思い思いに過ごせるよう支援しているとともに、廊下には利用者と職員で制作した作品やクリスマスの装飾品を飾り、季節感を出している。 各ユニットに3ヶ所あるトイレと広い廊下には、利用者に合わせた高さの手摺を設置している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下のベンチで外を眺め、リラックスできる空間があります		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談して、写真や本など本人の愛用の品を飾ったり、持ち込めるように支援しています	居室にはエアコンやベッド、洗面台、カーテン、整理筆筒、テーブルが備え付けられている。利用者は家族等と相談しながら、使い慣れた寝具やハンガーラック、家族の写真、表彰状、利用者の作品、カレンダー、時計、観葉植物など思い思いの物品を持ち込み、居心地よく暮らせる居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の電気や、カーテンを開けるトイレは電気を消さないことや、場所がわかるように看板を書いています 段差もなく手すりの設置で自立して生活出来るよう支援しています		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームつつじ

作成日 平成28年4月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居時の個人情報の記録がない利用者の生活歴・趣味等の新たな情報を把握し、全職員で共有出来る「記録」となっていない。	全職員が共有出来る為の工夫	評価後、利用者の新たに知り得た思い出等、随時記録出来る様個別の記録紙を作成	平成28年 1月1日
2	30	受診結果について、家族への報告「申し送りノート」への記録はしているが、個人毎のファイルを作成していない。	受診についての個々の状況を個人毎に記録し全職員が共有出来る	受診日や結果については、日常生活の記録用紙を作成し、記録する。 今後は、受診の記録を個別にまとめ職員が共有できる様にしていく。	1ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。